

で、待ってます

「乳がんです」
・・・と告知されても
あなたは、ひとりではありません
友達や家族にも言えないこと
一緒に話してみませんか

ここには仲間がいます
あなたの居場所のひとつになれば...

いつでもお待ちしております

乳がん体験者の会「マリアリボン」
～共同代表・世話人～
堀内美保 / 若澤玉青 / 久米陽子

<マリアリボン誕生まで>

設立メンバーの3人は乳がん治療中に院内で出会いました。互いに話をすることで癒され、孤独から解放され前向きに治療と向き合えた経験から、「院内に体験者が集える場所があれば」と願うようになります。マリアリボンの設立を病院、医師、がん相談支援センターに働きかけたところ、快く受け入れていただき2013年5月に会が誕生。設立以来、病院と医療関係者のご理解とご支援をいただきながら院内で活動させていただいています。

メッセージ
from

聖マリアンナ医科大学病院
乳腺内分泌外科部長 津川浩一郎先生



マリアリボンのみなさんへ
ピアサポート(英語: peer support)と言う言葉があります。「同じような立場の人によるサポート」といった意味ですが、そのサポートが一番嬉しいと感じられるのが、病気の時ではないかと思えます。訊きたいことがいっぱいある、逆に何を訊いたらいいかわからない、そんな時に心強いのは同じ立場の方々との語りでしょう。患者さん自ら作り上げた会は、もはや私たちマリアンナのチームの一員になってきています。これからもよろしく願います。



聖マリアンナ医科大学病院にちなんで「十字架」と「天使」、幸せを願う「四葉のクローバー」です。
四葉のクローバーは、持つ人に
「希望」「愛情」「信仰」「幸福」を呼び込むとのこと。
マリアリボンで出会う方々が共に支えあ証であり、一人ひとりが希望を持って歩めることを心から願って。

聖マリアンナ医科大学病院 乳がん体験者の会「マリアリボン」

共同代表・世話人 / 堀内美保・若澤玉青・久米陽子
世話人 / 万徳左弓・橋本倫子

マリアリボンはボランティアで運営されています。お手伝いやサポートをしたいと思います方がいらっしゃれば、世話人か、がん相談支援センターまでお声がけください。

<ご寄付のお願い>

マリアリボンを一緒に支えていただけませんか?
ご支援いただける方は、ぜひ下記までお願いいたします。
【聖マリアンナ乳がん体験者の会マリアリボン】
みずほ銀行 マリアンナ医大前出張所 普通1474414

<問い合わせ先> 聖マリアンナ医科大学病院 がん相談支援センター

〒216-8511
神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
044-977-8111

Supported by: 公益財団法人 正力厚生会 Design: Norie Koyama

仲間と一緒に
時間を過ぎて
みませんか?



Maria Ribbon
Breast Cancer Support

聖マリアンナ医科大学病院
乳がん体験者の会 マリアリボン

